

対象年度	平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	市民活動支援センター運営事業						予算事業名	市民活動支援センター運営事業費		
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	結城市民活動支援センター条例	
			02	01	13	1103	経常経費			
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営) 5-1市民・企業・行政がともに支えあう体制づくり(市民参加・広 ①協働のまちづくりの推進 3市民が行うまちづくり活動の支援						事業の区分	主要事業		
	担当課係等	市民活動支援センター								
		協働推進係								
	事業期間	継続(年度～平成33年度)								
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
市民が行う自発的な社会貢献活動を支援することにより、市民と行政が協働のまちづくりを推進し、快適な住みよいまちになること。地域の公共的課題に向けて共に積極的に考え協力していくこと。							協働のまちづくりを進めるうえで市民活動の拠点となる施設の設置が計画されており、他市においてもすでに設置されている事例があった。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
市民活動に関する情報の収集・発信、人材育成、広報活動、コーディネートを行う。 ・市民活動に必要な機材、会議スペースの貸し出し ・市民活動に関する情報の発信、広報コーナーの設置 ・市民活動に関する相談、コーディネート ・登録団体のスキルアップ、交流の促進							市内において市民活動を行っている、または行おうとする団体及び個人			
							【事業をとりまく環境の変化】 平成25年4月に市民活動支援センターが開設されたことで、新たな市民間の繋がりが形成されつつある。全般的に活動団体の構成員の年齢は高齢化しており、若い世代の活動が望まれるところである。			
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】			
市民活動に関する情報の収集・発信、人材育成、広報活動、コーディネート実施			市民活動に関する情報の収集・発信、人材育成、広報活動、コーディネート実施				市民活動に関する情報の収集・発信、人材育成、広報活動、コーディネート実施			
■事業費										
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金			H29年度		H30年度				
	県 支 出 金			0		0				
	地 方 債 債			0		0				
	そ の 他			0		0				
	一 般 財 源			4,047		4,235				
	歳 入 計 (千 円)			4,047		4,235				
	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千円)		金額 (千円)				
	01 報酬			2,225		2,229				
	07 賃金			1,070		1,188				
	08 報償費			100		40				
歳 出 内 訳	09 旅費			0		22				
	11 需用費			552		622				
	12 役務費			0		46				
	14 使用料及び賃借料			100		65				
	19 負担金補助及び交付金			0		16				
	27 公課費			0		7				
歳 出 計 (千 円) (A)			4,047		4,235					
伸 び 率 (%)					4.64					
備 考	総合計画133ページ 予算書50ページ									

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31年度
活動指標	登録団体数	件	目標 50.00	50.00	50.00
			実績 50.00	0.00	0.00
成果指標	会議スペース貸出数	件	目標 90.00	90.00	90.00
			実績 111.00	0.00	0.00
成果指標	施設利用者数	件	目標 2,900.00	2,950.00	3,000.00
			実績 3,490.00	0.00	0.00
相談件数		件	目標 195.00	200.00	200.00
			実績 192.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民活動に関する拠点施設として必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	他自治体の事例では、民間団体が運営しているところもある。
	手段の妥当性	A 妥当である	市民活動の取り組みに関係する、作業スペースや会議スペースを備えた拠点施設である。
効率性	コストの効率性 ・人員効率	B どちらとも言えない	市民活動に関する相談や指導も求められる施設であり、常時一定の職員が事務所にいる必要がある。ただし、市民活動の現場に赴く必要もあり、人員のシフトにより手薄になる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民活動を行う個人及び団体を対象としている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	登録している団体へのスキルアップや交流等を行うことで、新たな市民活動の契機となっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	市民活動の充実は短期的に表れるものでなく、まだ途上である。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

市民活動支援センターの利用者等以外には、本センターがどのような業務を担当している部門か把握されておらず、市民の認知度が低いという課題がある。

本センター施設付近には、登録団体が作成した独自のポスターを展示し、団体の活動PRに努めているが、駅前庁舎を利用する市民以外には見る機会が少ない。

交流サロンの実施により、登録団体間のスキルアップや交流は図られてきたが、団体の参加状況にバラツキがある。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

登録団体のポスター等は、市民が集まる他の公共施設に展示するなど、PRの方法を検討する。

交流サロンについては、市民活動のきっかけ作りとなるように、登録団体に限らず市民にも開催を周知する。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開
<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画）
今ある団体を存続させつつ、新しい団体を作っていく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革ながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開
<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）
上記評価のとおり。